

2014年度 理学部 生物科学科専攻科目教育課程表 (2008年度入学者に適用)

			1年				2年				3年				4年				卒業要件 単位数							
			前期(1セメスター)		後期(2セメスター)		前期(3セメスター)		後期(4セメスター)		前期(5セメスター)		後期(6セメスター)		前期(7セメスター)		後期(8セメスター)									
			授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目			単位	担当者				
専攻科目	A群	主要科目			生物科学実験Ⅰ 基礎生物学演習	3 2	※6 ※7	○生物学演習D ○生物学演習U	2 2	鈴木(季) 安積 井上(和)			生物学特殊講義Ⅰ 生物学特殊講義Ⅱ 生物科学実験Ⅱ	1 1 6	※14 ※15 ※16	総合生物学演習	2	専任教員	卒業研究Ⅰ 輪講Ⅰ	4 1	専任教員 専任教員	卒業研究Ⅱ 輪講Ⅱ	4 1	専任教員 専任教員	27	
	B群	基礎系科目	〔解析B群〕 数学概論Ⅰ 情報Ⅰ ×物理学概論A	2 2 4	川島 張 米澤 長澤 荒船	線形代数B群 数学概論Ⅱ 情報Ⅱ 力学Ⅰ ◇基礎有機化学 ◇基礎無機・分析化学 21世紀基盤科学	2 2 2 2 2 2	川島 〔休講〕 木村(敬) 和田 川本	◇基礎物理化学Ⅰ 科学技術英語Ⅰ 確率統計学Ⅰ	2 2 2	平田 ※9 山下	基礎化学実験 科学技術英語Ⅱ 基礎物理化学Ⅱ ★物理学実験Ⅰ	3 2 2 3	※10 ※11 谷本 ※12											10	
		生物系科目	生物学概論Ⅰ ◇植物機構学 ◇動物機構学	2 2 2	※1 鈴木(季) 豊泉	生物学概論Ⅱ ◇生態学 植物発生学 地域の自然史 ★◇生物統計学 ★◇基礎生物化学Ⅰ	2 2 2 2 2 2 2	※4 鈴木(祥) 安積 金沢 新井田 笠間 佐藤(武) 田中(徳) 広谷 鈴木(祥) 安部 泉	◇内分泌学 ◇発生生物学Ⅰ 微生物学 ◎特別実習Ⅱ ◎特別実習Ⅲ	2 2 2 1 1 1	小笠原 日野 齊藤(光) 〔休講〕 小笠原 市川 横山	◇基礎生物化学Ⅱ ◇細胞生物学Ⅰ ◇分子生物学 生理人類学 ◎特別実習Ⅰ	2 2 2 2 1	井上(和) 鈴木(季) 大平 安積 〔休講〕 ※13	◇環境生理学 ◇機能形態学 ◇細胞生物学Ⅱ ◇植物生理学 蛋白質特論 ◇分子生理学 ★◇システム生態学 生物情報学 ◎特別実習Ⅳ ◎特別実習Ⅴ 食品機能科学 生物科学特論Ⅰ 生物科学特論Ⅱ 生物科学特論Ⅲ 生物科学特論Ⅳ	2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1	大平 金沢 安積 井上(和) 小谷 鈴木(季) 鈴木(祥) ※17 鈴木(季) 安積 〔休講〕 〔休講〕 〔休講〕 本郷 久米	◇個体生理学 ◇進化生物学 ◇発生生物学Ⅱ 科学表現 生物化学産業論 生物工学 ◇生物物理化学 発酵学 分子遺伝学	2 2 2 2 2 2 2 2	小笠原 金沢 豊泉 〔休講〕 〔休講〕 〔休講〕 小谷 泉	生物科学の総合的理解 機器分析演習	2 2	〔休講〕 ※18			
C群	関連科目	〔解析A群〕 解析Ⅰ 線形代数A群 線形代数Ⅰ 数学演習Ⅰ 数学入門 物理学入門 化学入門 生物学入門 微積分入門 ×物理学概論B	2 2 2 2 1 1 1 1 1 2	土井 酒井 加藤 川島 岸 山口(勝) 山野 ※2 ※3 〔休講〕 〔休講〕 ※5 〔休講〕	〔解析A群〕 解析Ⅱ 線形代数A群 線形代数Ⅱ 数学演習Ⅱ	2 2 2 2	紀 土井 川島 岸 山口(勝) 山野	応用数学Ⅰ 解析Ⅲ 幾何学 線形代数Ⅲ 地学概論Ⅰ ★離散数学	2 2 2 2 2 2	山口(蒙) 長 本間 酒井 伊藤 山口(寿) 中山 松尾	応用数学Ⅱ 確率統計学Ⅱ 地学概論Ⅱ 電磁気学基礎 統計力学基礎 複素関数論 量子力学基礎	2 2 2 2 2 2	山口(蒙) 山下 長澤 本田 知久 長 粕谷	地学実験 電磁気学 統計力学 量子力学	2 2 2 2	山口(寿) 木村(敬) 知久 川東	知的所有権法	2	吉井					30		

※1 井上(和) 小谷 安積 大平 豊泉

※2 堀口 大川

※3 粕谷 菅沼

※4 小笠原 安部 久保田 若山

※5 長 井上(満)

※6 井上(和) 小笠原 鈴木(季) 安達 安部 市川 河合 北島 永島 横山

※7 鈴木(祥)

※8 小笠原 加部 川本 木原 中田 西本 平田 知久 本田

※9 小笠原 渡辺(毅) 齊藤(光) 梨本 畑中

※10 川本 木原 西本 山口(和) 力石 渡邊 松永

※11 渡辺(毅) 梨本 畑中

※12 水野 粕谷 星野 本田 朝日 岩佐 小林(敏) 齊藤(和) 斎藤(保)

※13 金沢 日野 河合 若山

※14 泉 井上(和) 小谷 安積 大平 豊泉 安達

※15 小笠原 金沢 鈴木(季) 箸本 日野 鈴木(祥) 安部

※16 泉 金沢 小谷 箸本 日野 安積 大平 鈴木(祥)

豊泉 安達 安部 市川 河合 北島 永島 横山 若山

※17 鈴木(祥) 安達 安部 若山

※18 天野 加部 木原 鈴木(季) 西本 中西 松原

〔再履修科目 担当者〕

(後)解析Ⅰ〔長〕 (後)線形代数Ⅰ〔土井〕 (後)物理学入門〔水野 菅沼〕 (後)生物学概論Ⅰ〔泉 安達 久保田 若山〕 (後)情報Ⅰ〔後〕 (前)総合生物学演習 (前)生物学概論Ⅱ〔小笠原 金沢 鈴木(季) 箸本 鈴木(祥) 豊泉〕

2014年度 理学部 生物科学科専攻科目教育課程表(2008年度入学者に適用)

【備考】

◇印はコース別選択必修科目を示す。○印は原則としていずれか一方を選択履修する科目を示す。×印は、どちらか一方のみ履修できる科目を示す。★は配当期変更科目を示す。

【履修要件】

- 1 同一科目は重複して履修することはできない。
- 2 専攻科目A群の科目は、上位年次の科目を履修することはできない。
- 3 ◎印の授業科目を履修する場合は、原則としていずれか1科目履修することとし、かつ上位年次の履修はできない。また、履修制限をする場合がある。
- 4 他学部他学科が受講を認めない授業科目は履修できない。
- 5 「生物科学実験Ⅱ」は、次の科目の単位を取得した者でなければ履修できない。
(1)「生物科学実験Ⅰ」3単位
- 6 「科学技術英語Ⅰ・Ⅱ」は、外国語科目「上級英語Ⅰ」、「中級英語Ⅰ」、「初級英語Ⅰ」、「基礎英語Ⅰ」から2単位、「上級英語Ⅱ」、「中級英語Ⅱ」、「初級英語Ⅱ」、「基礎英語Ⅱ」から2単位の組み合わせで4単位を修得した者のみ履修できる。
ただし、未修得者であっても、工業英語検定3級以上及び実用英語技能検定2級以上に合格している者は、履修することができる。
- 7 「数学演習Ⅰ」は、「解析Ⅰ」、「線形代数Ⅰ」の履修者が履修できる。「数学演習Ⅱ」は、「解析Ⅱ」、「線形代数Ⅱ」の履修者が履修できる。
- 8 (解析A群)と(解析B群)の両方にまたがって単位修得した者については、(解析A群)科目の単位のみを卒業要件単位として認める。
- 9 (線形代数A群)と(線形代数B群)の両方にまたがって単位修得した者については、(線形代数A群)科目の単位のみを卒業要件単位として認める。

【コース制】

- 1 1年次から「生化学・分子生物学(Aコース)」、「個体・細胞生物学(Bコース)」及び「自然史・生態学(Cコース)」に分かれる。
- 2 コース登録は、1年次の履修登録時に行う。
- 3 コースの変更を希望する者は、2年次当初又は3年次当初に学部長に申請し、許可を得ること。

【卒業研究Ⅰ・Ⅱ履修資格】

- 1 3年以上在学し、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち104単位以上を修得した者。
(1)FYS(First Year Seminar)2単位、外国語科目4単位を含む基礎科目から23単位以上
(2)卒業研究Ⅰ・Ⅱ及び輪講Ⅰ・Ⅱを除く主要科目の全ての科目

【学外単位認定制度】

- 学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の単位とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。また、これらの科目は各年次の履修制限単位数には含めない。
- (1) 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
 - (2) 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
 - (3) 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

【生物科学科卒業要件】

授業科目 入学年度	基礎科目				専攻科目			合計	
	F Y S	外国語科目	教養系科目	キャリア形成科目	A群	B群			C群
					主要科目	基礎系科目	生物系科目		関連科目
2008年度入学	2	4	17		27	10	36	30	126
	23					46			

- 1 4年以上在学し、学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。
- 2 基礎科目から23単位以上修得すること。23単位を超えた単位は、8単位までC群の関連科目に算入することができる。
- 3 キャリア形成科目は、1単位まで卒業要件単位に算入することができる。
- 4 主要科目から27単位修得すること。
- 5 専攻科目B群から次の内訳で46単位以上修得すること。46単位を超えた単位は全てC群の関連科目に算入することができる。
(1)基礎系科目から10単位以上
(2)生物系科目から36単位以上
- 6 関連科目から30単位以上修得すること。
- 7 別表のコース別必修・選択必修科目表の単位修得要件を満たすこと。
- 8 総合理学プログラムから生物科学科に分属された学生は、総合理学プログラムの卒業要件に従って履修した専攻科目の修得単位を生物科学科の専攻科目に置き換えることができる。
- 9 他学部他学科の科目及び理学部他学科の専攻科目を履修した場合、16単位まで関連科目に算入することができる。
- 10 教職課程登録者で教職に関する科目のうち「教科教育法Ⅰ(理科)」、「教科教育法Ⅱ(理科)」、「教科教育法Ⅲ(理科)」、「教科教育法Ⅳ(理科)」、「教職論」の10単位に限り、上記9と併せて関連科目16単位の中に算入することができる。